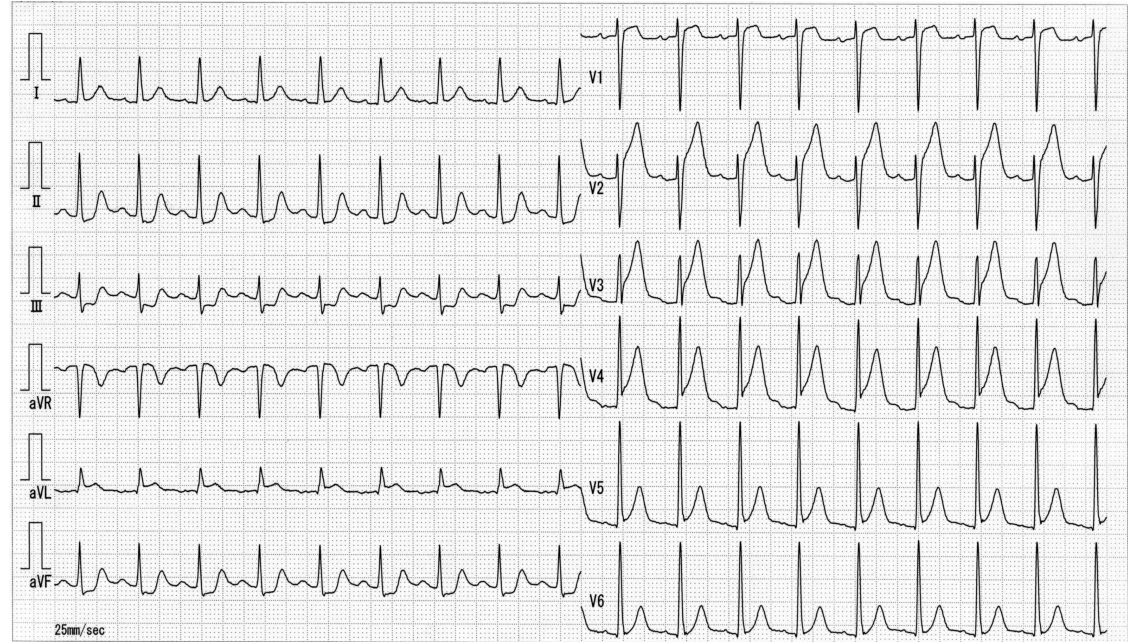


問題1 67歳女性、数時間前よりの胸部不快感を主訴に来院した際、検査室で記録された安静12誘導心電図である。

1) 心電図の診断として正しいものはどれか。

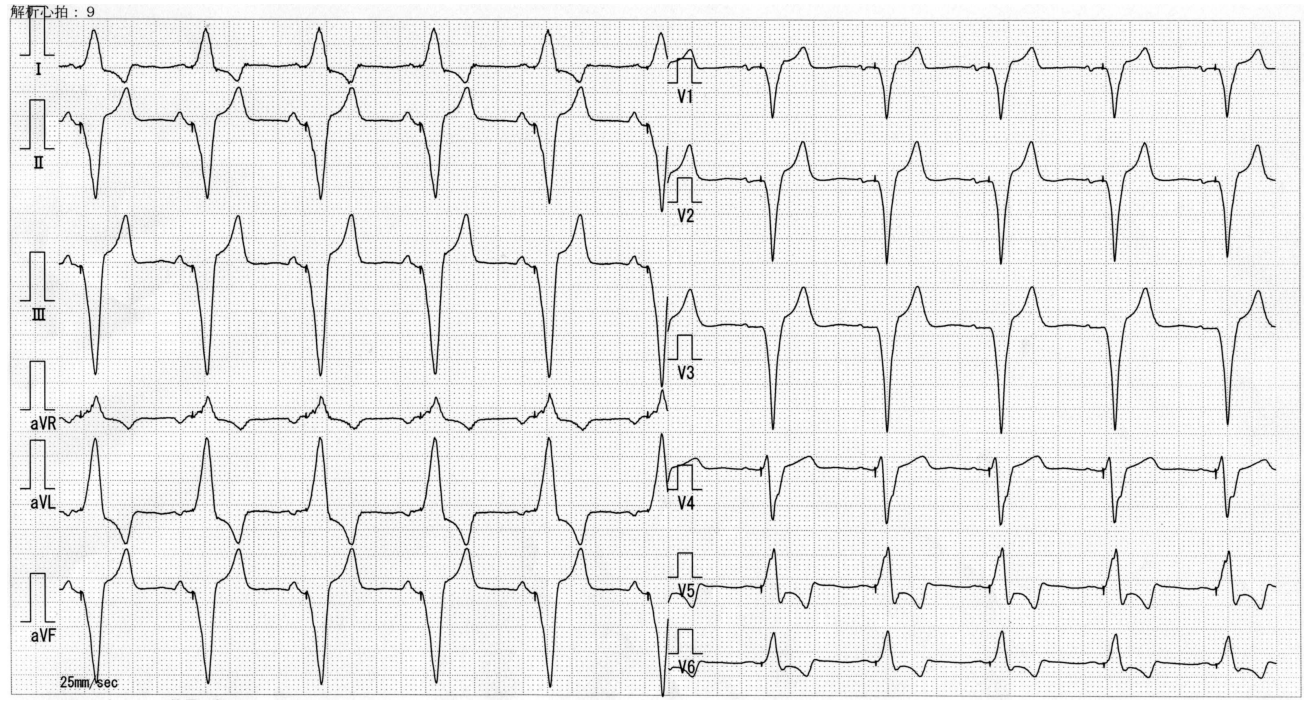
1. 早期再分極
2. 急性心膜炎
3. 労作性狭心症発作
4. 急性心筋梗塞
5. 高カリウム血症



2) 心電図を記録した際の対応として最も適切なものはどれか。

1. 特に急を要する所見はない為、予定通り診察室の前で待っててもらおう。
2. 胸部症状がある為、処置室で休んでもらおう。
3. 患者を車椅子に移し、診察室へ至急移動してもらおう。
4. 患者をストレッチャーに移し、担当医に至急連絡を入れ、指示を待つ。
5. 患者をそのまま動かさずに、担当医に至急所見を連絡する。

問題2 ペースメーカー植え込み術を行った患者の安静時12誘導心電図である。
 次のうち考えられるペーシング様式を、2つ選択せよ。



- a. AAI
- b. VVI
- c. VDD
- d. DDD
- e. DVI

1. a、 b 2. a、 e 3. b、 c 4. c、 d 5. d、 e

問題3 67才女性 2週間ほど前からの眩暈、動悸を主訴に来院。頭部C Tは異常所見を認めず。心エコー検査は壁運動正常、僧帽弁の石灰化を認めた。

図1の心電図診断として正しいものはどれか。

1. 正常所見
2. ブルガダ症候群
3. 急性心筋梗塞
4. 右脚ブロック
5. 左脚ブロック

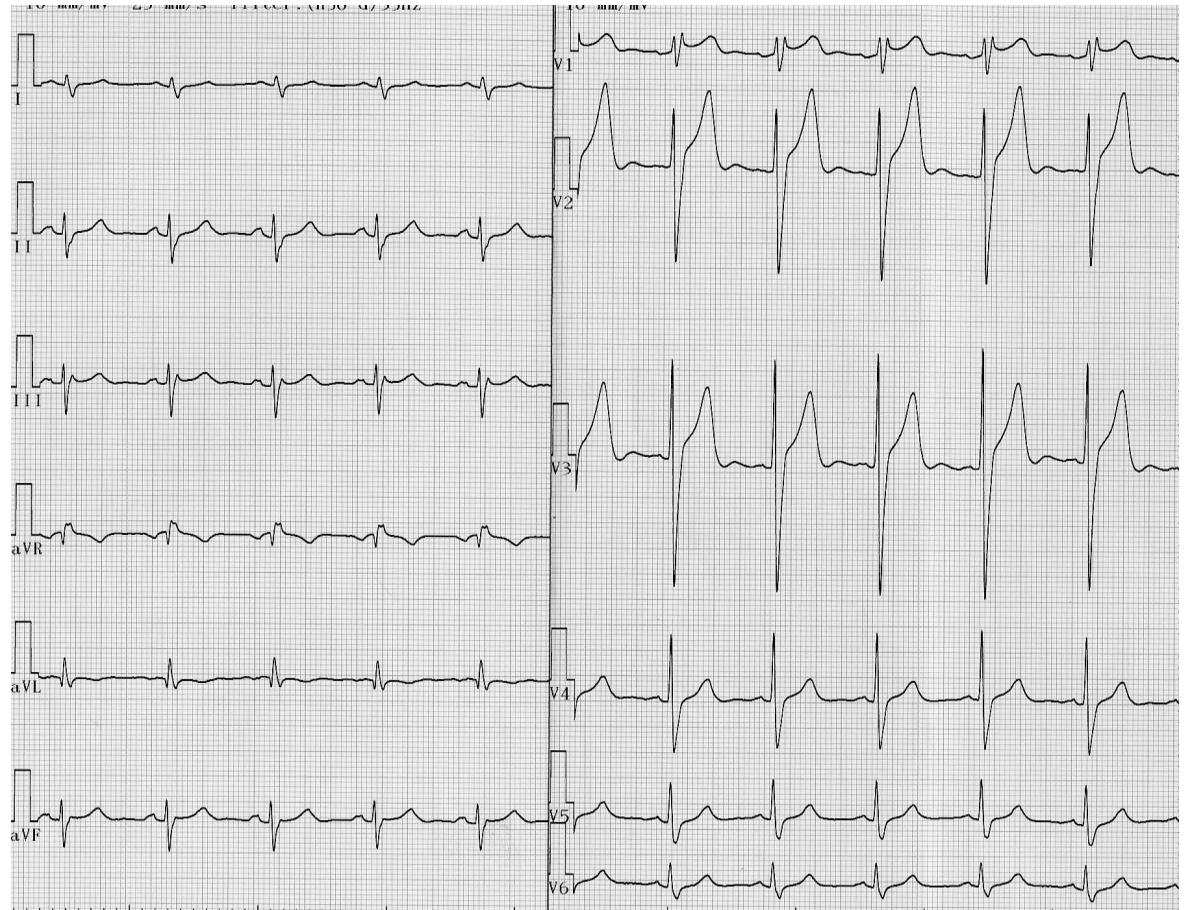


図 1

問題4 図2は同患者さまの1ヶ月後の心電図である。心電図診断として正しいものはどれか。

- a. II度房室ブロック
- b. III度房室ブロック
- c. ブルガダ症候群
- d. 急性心筋梗塞
- e. 右脚ブロック
- f. 左脚前枝ブロック
- g. 左脚後枝ブロック

- 1. a. c. f
- 2. a. d. g
- 3. b. e. g
- 4. b. d. f
- 5. c. d. f

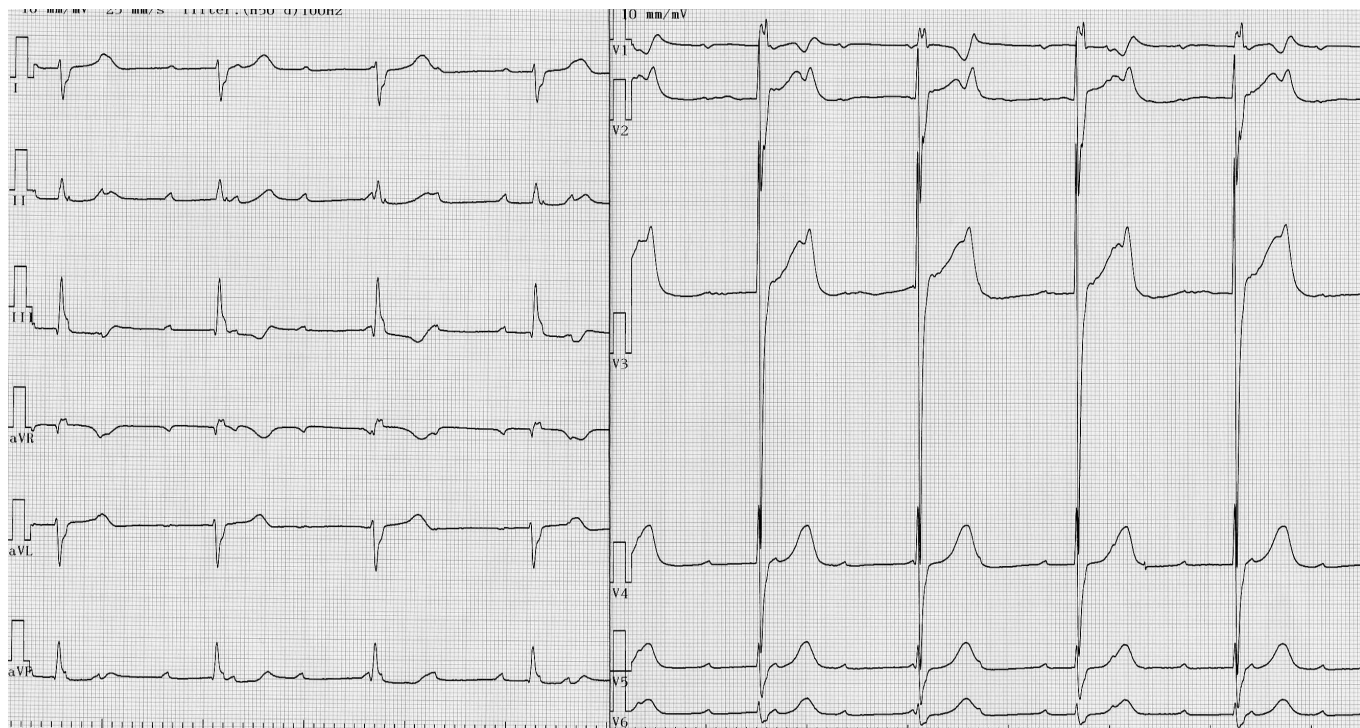


図 2

問題5 84才男性 16年前に心筋梗塞の既往あり、外来にて経過観察中であった。

図1は外来で記録した安静時12誘導心電図である。

図2は図1の心電図記録から1ヶ月後 外来受診時に記録した安静時12誘導心電図である。自覚症状は無く独歩で来室した。

心電図診断として正しいものはどれか。

1. W P W症候群の心房細動
2. 上室頻拍
3. 頻脈性心室調律
4. 心室頻拍
5. 心室粗動

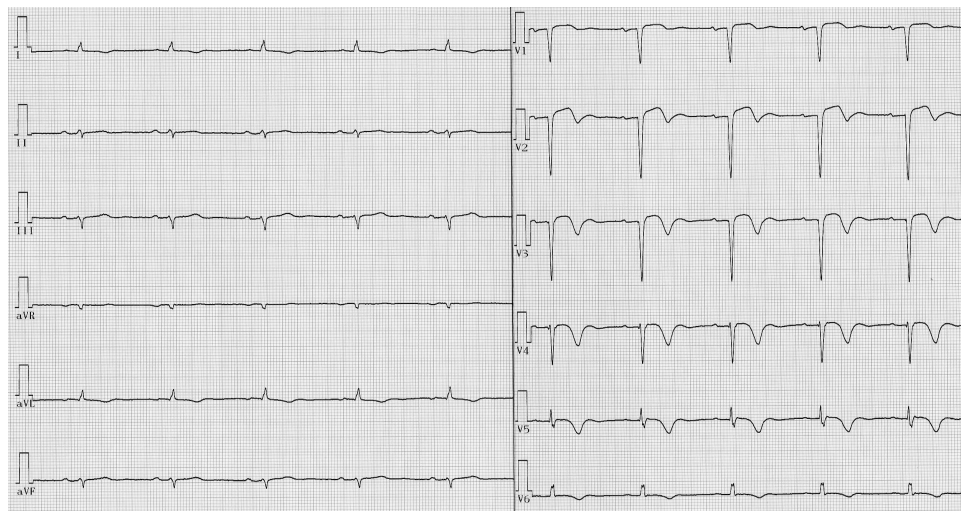


図 1



図 2

問題6. 問題5. の様な変化を認めた場合の生理機能検査室（心電図室）における対応として、最も適切と思われるものを選んでください。

1. 自覚症状がないので、検査結果を持って歩いて診察室に戻っていただいた。
2. 自覚症状がないので、検査結果を持って車椅子（ストレッチャー）で診察室に戻っていただいた。
3. 外来（主治医）に所見を報告、至急の診察を要請し歩いて診察室に戻っていただいた。
4. 外来（主治医）に所見を報告、至急の診察を要請し車椅子（ストレッチャー）で診察室に戻っていただいた。
5. 即治療を必要とする危険な状態が考えられ、病院内緊急コールをかける。